

第 6 3 回「電波の日」総務大臣表彰

1 個人：3 件（4 者）

(敬称略：五十音順)

氏 名	功績の概要
<p>おくむら よしひさ 奥村 善久</p> <p>金沢工業大学 名誉教授</p> <p>はた まさはる 秦 正治</p> <p>岡山大学大学院 自然科学研究科 産業創成工学専攻 教授</p>	<p>移動通信システムの無線回線設計などにおいて、国内外で広く用いられている電界強度曲線(奥村カーブ)及び電波伝搬特性の数式モデル(奥村 - 秦モデル)を確立し、今日の移動通信システムの発展に多大な貢献をした。</p> <p>(奥村氏業績紹介) VHF帯からUHF帯の電波を用いた屋外送受信実験から、統計的手法による電界強度曲線(奥村カーブ)を発表した。</p> <p>(秦氏業績紹介) 奥村氏の電界強度曲線を近似的に数式化し、電波伝搬特性を容易に計算可能とする数式モデル(奥村 - 秦モデル)を確立した。</p>
<p>かわい ひさみつ 河合 久光</p> <p>株式会社静岡朝日テレビ 取締役会長</p>	<p>全国地上デジタル放送推進協議会会長を約6年間務め、デジタルテレビ放送の制度的・技術的検討及び地上放送のデジタル化に関する周知広報について指導力を発揮するなど、我が国の地上放送の完全デジタル化に多大な貢献をした。</p>
<p>モクウィツィ マシシ</p> <p>ボツワナ共和国 大統領府公共政策担当大臣</p>	<p>中南米及びアジア諸国で採用されている地上デジタルテレビ放送日本方式(ISDB-T)について、ボツワナ共和国がアフリカ諸国で初めて同方式を採用するに際し、日本方式が客観的に優れたものであることを評価するとともに、国内の議論の取りまとめにリーダーシップを発揮するなど、同方式の国際普及の推進に多大な貢献をした。</p>

2 団体：1 件

(敬称略)

団体名	功績の概要
<p>千葉県</p> <p>(知事 森田 健作)</p>	<p>千葉県内の消防・救急無線のデジタル化を積極的に推進するとともに、全国初となる県域全体を統合した県内共通システムを整備し、大規模災害や同時多発的に発生する火災などに対して、近隣消防本部間の協力による迅速な応援体制を確立するなど、電波の利活用の発展に多大な貢献をした。</p>